



はろんNEWS

NO. 10
H20年8月

今月から社協の業務分析を始めています。区民のみなさんや専門職のみなさんからあがってきた提案を受けとめて事業化するためには、社協の既存事業を見直してスクラップ（削減）&ビルド（拡充）をしておかないといけません。また必要に応じて社協組織のあり方も検討し、本気で計画事業を執行していくための方策を考えていく必要もあります。地域や福祉ニーズは時代によって変わっていくのですから、それに合わせていくためには社協自身も変わっていく姿勢が不可欠です。業務分析についても全職員が議論に参加することを通じて、昭和区社協としての「強み」をしっかりと作っていきます。

8月の経過報告

- ◆8/6 プロジェクトチーム会議 業務分析②/昭和区社協の強み・弱み
- ◆8/28 学区担当者会 学区で理念をまとめるためのワークの組み立て
- ◆8/25 第7回専門職部会

今後、専門職部会で取り組んでいく検討課題が決まりました。

○情報の共有と窓口の充実

○保健医療福祉の連携によるセーフティネット

- ◆8/7 滝川学区 第1回作業部会

全体ワークの中でみなさんから出てきた声をもとに、第1回目は課題について話し合い、整理しました。

- ◆8/24 鶴舞学区 全体ワーク 「4つの窓」

地元の小学生・区政協力委員・民生委員・消防団・ホームファイヤー・更生保護女性会・健康増進会などから計47名の参加をいただき、「4つの窓」のワークで鶴舞学区の良いところや今後こうなったらいいなということなどを話し合っていました。



- ◆ワーキンググループ（結果は裏面）

8/25 <担い手>② 8/29 <場づくり>② 8/7・25 <福祉意識>②③

9月の予定

- ① プロジェクトチーム会議 9/17 (水) 15:00~17:00
- ② 第8回専門職部会 9/8 (月) 19:00~21:00
- ③ ワーキンググループ
 - <担い手> 9/8 (月) 18:00~20:00
 - <場づくり> 9/5 (金) 13:30~16:00
 - <福祉意識> 9/22 (月) 15:00~17:00
 - <福祉課題> 9/4 (木) 9:00~12:00
- ④ ワーキンググループ世話人会 9/17 (水) 10:00~12:00
- ④ 学区担当者会 9/25 (木) 15:00~17:00
- ⑤ 学区計画
 - 滝川学区 作業部会② 9/8 (月) 9:30~11:30
 - 作業部会③ 9/24 (水) 9:30~11:30
- ⑥ 所属別研修
 - <デイサービス部門> 9/1 (月) 17:00~19:00
 - <訪問介護部門> 9/3・10 (水) 10:00~12:00
 - <包括支援センター> 9/5 (金) 13:00~15:00
 - 9/12 (金) 9:30~11:30
 - <ケアマネ部門> 9/5 (金) 13:00~15:00



福祉課題

<7/29(火) 第2回会議
で話し合われたこと>

- ・他団体・組織について調査(照会)
8~9月に実施したい。
名称・活動目的・構成メンバー・拠点・活動地域・対象・具体的活動状況など。調査目的を明確に出して調査を実施、協力を求める。回答しやすい項目で。
- ・メンバーの拡大について地域が偏らないようにしたい。
- ・昭和区政運営方針について、区役所からの説明を聞き、行政としての取り組みや方針について理解した。我々が目指そうとしていることと一部重複している。他のグループも一緒に聞いてもらおうとよかった。
- ・他団体・組織との整合性がますます必要だと思う。区内で同じことを考え活動しようとしているところと協働、調整(住み分け・分担)したい。【堀井さん】
*7月に2回開催、8月はお休みでした。



担い手

第2回会議は、8/25(月)、ボランティアルームにて開催されました。

「担い手」を掘り下げるための資料として、「住民からのボランティア依頼事項」と、「現在登録されているボランティアの分野の内訳」をいただきました。それを参考にしながら活発な意見を出し合った結果、「担い手」として、

1. 過去にボランティア登録している人が、現在実働可能か調査する。
2. ご近所でちょっとしたことに即対応してもらえる人を探す。(町内単位)
3. 幅広い分野で応えてもらえる人を集める。(区単位)→(市単位も可能)

等で構成可能。これらを人材バンクのような形で管理・運営する。

これには、民生委員や各会、会社等をリタイアされた方、技術を持った方等々に活躍していただきたいということで合意しました。

さらに、学区単位の推進協をより良く機能させるための、具体的な意見が次々に出され、「担い手」としての青写真ができたように思いました。この項については、次号をお楽しみに・・・【蟹江さん】

のまちのボランティアの声



場づくり

8/29(金) 第2回 WG は、実習生の学生さんも加わり総勢9名の自己紹介からスタート。

前回の宿題、地域のたまり場の情報収集を各自提出し、フォーマル・インフォーマルを含めてどんなサロンがあるのか興味津々。それらの資料をジャンル別にしてマップに落としました。この作業をしながら意見や情報を交換し、とても貴重な時間でした。

仕上がったマップを見ると1つの学区に集中していたり全くない学区もあり、改めてばらつきのあることに気付かされました。

これに基づき、無い学区はなぜ無いのか、探せばあるのか…。またひきこもりがちの人に、その方が以前経験したことを働きかけて刺激を与えて喜ばれた実践談もあり参考になりました。最終的には、サークルや同好会などのテーマのある集まりに来れない人でも、誰でも集まれるような共生型のたまり場を支援していきたいということで方向性が決まりました。また、9/5には緑区で「たまり場講演&交流会」があるのでこれにも参加して次回につなげていこうということで終了しました。【黒岩さん】



福祉意識

8/28(木) 桜花学園高等学校にて、第3回作業部会を開催しました。

今回は、前回まとめた広範囲にわたる「福祉意識」のキーワードをもとに、議論の対象の絞り込みを行いました。当初参加者の議論は、「(幼児も含めた)子ども」「学生」「ママさん」「地域の方々」などといった「対象」へと話題が進んでいきましたが、議論が進む中で、「いかに障害を知ってもらうか」「障害者も同じ人間なんだ」そして、「障害を排除しないことが重要なんだ」という意識論へと発展していきました。

しかし、「排除」という言葉はどうかという問題定義もあり、最終的には、『認め合う』をキーワードに今後の方法論を考えていこうという方向性を打ち出しました。



【河合さん】